海と風の物語

子の星に仄聞いた ほのき

骨からクジラ

たたずむ老婆と桜の木オシャラクの唄なまめかし

小石に経読む弘法大師又兵衛が飲んだ川の水

杖になったイチョウの小枝

孫樹

大駱駝艦|田村一行|舞踏公演

宫古风翔記

令和4年1月23日[日] 14:00開演(13:30開場) 宮古市民文化会館 大ホール

【料金(全席指定席)】 一般1000円 高校生以下500円 (当日各500円増) 【チケット取り扱い(プレイガイド)】 <u>一般発売開始:11月28日[日]</u> 宮古市民文化会館/リラパークこなり/マリンコープDORA/かんの書店本店/ 宮古市職員生活協同組合/もりおか町家物語館 【インターネット予約】https://iwate-arts-miyako.jp

【お問い合せ】宮古市民文化会館 TEL:0193-63-2511

> 主催:特定非営利活動法人いわてアートサポートセンタ 共催:一般財団法入地切割造:宮出市:宮出市財務を員会 な面・風な、空出市局収化全額)を約3年度生活で作業場

## 舞踏集団「大駱駝艦」の舞踏手、田村一行が宮古市に登場 宮古の様々な文化・風景から得た着想を盛り込んだ オリジナル舞踏作品を披露します

## 【舞踏】とは

1950年代に日本で生まれた踊りの一つです。大駱駝艦は1972年、麿赤兒によって旗揚げされ、以来"舞踏界"を牽引してきました。白塗り・剃髪・裸体などの外見的な特徴がインパクトを与えますが、その根本にある、個人ならではの肉体と向き合う方法や、根源的な背景へアプローチしていくという考え方は、広く芸術の世界に通底し、幅広いジャンルの人々に影響を与え続けてきました。世界各国から注目される、日本を代表する舞台芸術の一つです。



大駱駝艦の基本体操は、フニャフニャ体をゆすったり、ビビビビ体を震わせたり…。力を抜くことから始めると、頭も体も驚くほど自由になってゆきます。自分で「動く」のではなく「動かされる」。非日常のちょっぴり不思議な世界を体験し、楽しく体を動かしながら、自分ならではの動き・踊りを見つけてみましょう。

- ●日時:2022年1月20日(木) 19:00-21:00
- ●会場:宮古市民文化会館 展示室
- ●対象:高校生以上
- ●定員:15名程度
- ●参加費:無料
- ●申込み:HP·電話·会館窓口にてお申し込みください
- ※動きやすい格好でご参加ください。 裸足になるためシューズは必要ありません。

## 【講師】田村 一行

舞踏家・振付家・俳優。東京都出身。1998年大駱駝艦入艦、麿赤兒に師事。以降、大駱駝艦全作品に出演。02年、『雑踏のリベルタン』を発表。同作品により第34回舞踊批評家協会新人賞受賞。08年、文化庁新進芸術家海外留学制度によりフランスへ留学。11年より(一財)地域創造〈公共ホール現代ダンス活性化事業〉登録アーティストとして、地域の文化や風土を題材とした作品の創作にも意欲的に挑み、独自の作品を発表し続けている。

(大駱駝艦オフィシャルホームページ: http://www.dairakudakan.com)

## の中し込めてたさい

# 大駱駝艦のとよって

### ■新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

①37.5度以上の発熱、咳やのどの痛み、強い倦怠感などの症状がある方のご来場はお控えください。ご来場の際にはマスクを着用し、公演中もはずすことの無いようにお願いいたします。②客席は、舞台からの距離を確保し、客席数を制限しております。③空調設備を適切に稼働させ、必要に応じて扉を開放するなど、十分な換気を行います。④お花やプレゼント・差し入れはお断りしております。⑤チケット販売の際にお客様情報をいただいております。何った情報は当日の受付のほか、新型コロナウイルス感染者が発生した場合にのみ保健所等の公的機関へ提供することがありますのでご了承ください。

## [公演のお問い合わせ/ワークショップのお申し込み]

宮古市民文化会館

〒027-0023 岩手県宮古市磯鶏沖2-22 TEL:0193-63-2511 WEB:iwate-arts-miyako.jp 公演の詳細情報は WEBサイト、SNSからご確認頂けます Twitter@miyako\_43n\_bnk Facebook@miyakoshiminbnk

